

電 力 情 報

NO. 99

平成23年2月25日
東 北 電 力 (株)

八戸太陽光発電所、仙台太陽光発電所の新設工事の着工について

～ 当社初のメガソーラー発電所計画が前進～

当社は、当社初のメガソーラー発電所となる八戸太陽光発電所（出力1,500kW）および仙台太陽光発電所（出力2,000kW）の建設計画について、本日、経済産業省に対し電気事業法に基づく工事計画の届出を行い、新設工事を着工いたしました。

八戸太陽光発電所については、八戸火力発電所（青森県八戸市）の構内に建設することとしており、3種類の太陽電池モジュール（多結晶シリコン、薄膜系シリコン、薄膜系化合物）を採用し、それぞれの発電電力量等のデータの蓄積、比較検討を行い、今後のメガソーラー開発計画に活用していくこととしております。

一方、仙台太陽光発電所については、仙台火力発電所（宮城県七ヶ浜町）の構内に建設し、「特別名勝松島第二種保護地区」に立地することから、仙台火力発電所建屋と同様に、周辺の景観に配慮する設計としております。具体的には、落ち着いた黒色を配色した太陽電池モジュール（多結晶シリコン）を採用することにより、白壁と瓦ぶき屋根の日本建築風の外観とした仙台火力発電所建屋および周辺の自然環境との調和を図ってまいります。

両発電所は、今後、諸準備を進め、4月上旬より本格的な建設工事に着手し、平成24年1月の営業運転開始を目指してまいります。

当社は、地球環境問題への対応を重要な経営課題の一つとして位置づけ、低炭素社会実現に向けた取り組みの一環として、当社管内の複数地点において、2020年度までに合計10,000kW程度のメガソーラー発電所を建設することとしております。本日着工した両発電所は、こうした取り組みのもと、先行開発地点として計画を進めているものです。

八戸太陽光発電所および仙台太陽光発電所の概要は別紙のとおりです。

以 上